

化学物質審査規制法

化学物質審査規制法 かがくぶっしつしんさきせいほう

ＰＣＢ（ポリ塩化ビフェニル）による環境汚染問題を契機として、1973年に制定された法律である。新たに製造・輸入される化学物質について事前に人への有害性などについて審査するとともに、環境を経由して人の健康を損なうおそれがある化学物質の製造、輸入及び使用を規制する仕組みが設けられた。現在、厚生労働省、経済産業省、環境省がこの法律を所管している。年間約300件の新規化学物質に係る審査がなされるなど、人の健康に有害な化学物質について環境汚染の防止を図っている。また、環境中の化学物質の動植物への影響に着目した審査・規制制度の導入などを内容とする改正法が2003年5月28日に公布された。

<登録年月>

2005年01月
